



子どもたちの 未来を応援するために

遊びの中で学んでいる力を、更に伸ばす支援をしましょう。

子どもには、小学校に入学する前から、体験してきた中で育ってきているものがあります。例えば、「友達と一緒に仲良くあそぶ」「順番を守る」「今度はこんなことをしたいなど考える」等は、大人になっても大切な力です。

幼児期の子どもは、お父さんやお母さん、友達と、遊んでいる中で学んでいきます。手や足や頭等を使って子どもと一緒に遊びましょう。



遊びの中で高まっていく「生きていくために必要な力」

- | | | | | |
|--------|------|--------|--------|-------|
| 健康な心と体 | 自立心 | 共同性 | 道徳性・規範 | 社会生活 |
| 思考力 | 生命尊重 | 数・図・文字 | 言葉で伝える | 感性・表現 |

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」(文部科学省) 2018年 より

子どもたちが安心して生活していける小学校にします。

小学校に入学するにあたり、「友達と仲良く生活できるだろうか」「うちの子は勉強についていけることができるだろうか」等と不安に思われる方がおられるかもしれません。ですが、小学校の生活のスタートは、今まで身につけた力を更に伸ばしていくことから始まります。

子どもの育ちは、子どもによって違いますので、小学校では子どもたちの違いを踏まえ、一人一人の子どもと丁寧に話したり遊んだりしながら、子どもたちの学びを支えていきますので、ご安心ください。





ご家庭では、生活のリズムづくりをお願いします。

明るく健康で小学校生活を始められるよう、ご家庭ではお子さんが自分で、下のイラストにあるようなことを行ったり、体を清潔にする習慣を身につけたりできるようにしましょう。

食事をきちんととること

朝ご飯をしっかりと食べている子どもほど、脳にエネルギーがいきわたり、集中力、思考力、計算力に十分力を発揮できます。



良く寝ること

睡眠は、体力の回復、情緒の安定、脳の活性化等、子どもの成長を促す重要な役割をしています。

先生、教えて。

～入学前によく聞かれる質問と、その答えをまとめました～



生活のリズムって、どうしたらつくれるの？

まずは、家族が決まった時間に就寝・起床をすることです。夕食、入浴、歯磨き、トイレ、就寝など、ある程度同じような流れに心がけると子どもはそのリズムをつかんでいきます。大事なのは**親も一緒にやる**。そこがポイントです。



小学校ではタブレットを使うみたいだけれど、今のうちに使えるようにしておいた方がいいの？

小学校の最初は、具体物を使って遊びながら勉強を進めていくことが中心です。タブレットを**急いで使えるようにする必要はありません**。むしろ、積み木遊びのような実際に触れて遊べるようなことを大切にしてください。

子どもが小学校に楽しく通えるようになるために、親が心がけることは？

「小学校に行ったら、どんなことがしたい？」「小学校はこんな楽しいことがあるよ」などといった、小学校に**夢や期待感が持てるような言葉**を沢山かけてあげましょう。

それと同時に、**子どもの成長している姿**を見つけて、しっかり褒めてあげてください。

もし、心配なことがありましたら



まずは、お子さんのことについて、相談したり、理解を深めたりすることから始めてみましょう。

家庭だけで悩まず身近な機関に相談してみませんか。

お子さんのことで新しい気づきを深めていくことにつながっていきます。



子育てをしていると、「なぜ、できないのだろう?」「なぜ、分からないのだろう?」「育て方やしつけが悪いのかな?」など、いろいろな悩みがあると思います。

このリーフレットを参考に、お子さんの成長に応じたよりよい教育支援の方法を一緒に考えましょう。

！ 困っているのは子ども・・・

なんとかしたいのに

がんばっているのに

どうしたらいいの？



生活の場面や行動面で・・・！

- すぐに気が散ってしまう。
- すぐかっとなってイライラする。
- 予定が変わると不安になる。 など

友だちや集団生活の場面で・・・！

- 思い通りにならないとすぐに手が出してしまう。
- ルールや約束を気にとめない。
- 新しい集団の中に入れない。
- 周りの子と同じ行動をうまくとることができない。 など

学習の場面で・・・！

- よく聞き違いをしてしまう。
- 行をとばしたり、同じ行を繰り返し読んでしまう。
- 文字が粹からはみでたり、鏡文字になってしまう。
- 簡単な計算にとっても時間がかかる。 など

お子さんのSOSを見逃していませんか？

認めて、理解して
安心できる言葉がけを！

II 周りの大人がしてあげること・・・

子どもたちはそれぞれ個性があります。
周りの大人が子どもたちの良い所を「ほめて」「励まして」、小さな成功を何回も経験させて、本人の意欲と自信をつけさせてあげることが大切です。



- ◇自分の良い点を気づかせ、伸ばしましょう。
- ◇困ったときに助けを求める力を育てましょう。
- ◇「できた」という経験をたくさんさせましょう。
- ◇良い振る舞い方を具体的に教え、認めて伸ばしていきましょう。



子どもが不安になったり戸惑ったりすることがあります。
周りの大人が「失敗や不安を指摘する一言」で自信を失います。

III 子育てや教育に悩みや不安を感じたら・・・

一人で悩まず早い時期に
相談しましょう

- 子育て相談をしたいけど、どこに相談したらいいのだろう？
- 学校で授業についていけないみたいだけど、大丈夫かな？
- 周りの子と比べると、発達が遅れているようだけど、大丈夫かな？



このような不安や悩みを感じたときは、身近な機関に相談してみることをお薦めます。
早い時期から相談することで、いろいろな支援を受けることができます。

IV 木島平村の特別支援教育

おひさま保育園

木島平小学校
木島平中学校

妊産婦から十八歳ま
で支援（子育て包括
支援センター）

・支援員配置・医療等関係機関との連携

木島平村教育委員会・木島平小学校

V 相談できる身近な機関

- 木島平村役場 0269-82-3111(代)
 - ◇民生課 保健師 高山 美恵
 - ◇教育委員会子育て支援課 宮島 豊
 - 家庭児童相談員 湯本 修
 - ◇民生児童委員…各地区

- おひさま保育園 0269-82-1515
 - ◇園長 飯島 智美

- 木島平小学校 0269-82-2029
 - ◇特別支援教育コーディネーター 小林 有菜
- 木島平中学校 0269-82-2032
 - ◇特別支援教育コーディネーター 白井 敬

VI 連携する身近な機関

- 長野県飯山支援学校 0269-67-2580
 - ◇教育相談専任 田中 潔 田中 慶子
 - ◇自立活動専任 三井 和枝

- 木島平中学校 0269-82-2032
 - ◇LD等通級指導教室 宮崎 麻由

- 北信圏域障害者総合相談支援センター 0269-23-3525
 - ◇サポートマネージャー 坂爪 麗子
 - ◇療育コーディネーター 邊田 卓馬

- 飯山小学校 0269-62-2100
 - ◇LD等通級指導教室 富井 麻紀
 - ◇ことばの教室 清水美ゆき

- スクールソーシャルワーカー 小巻 佳人 090-3585-2853

- 長野県教育委員会 北信教育事務所 026-234-9551
 - ◇特別支援教育推進員 伊藤 潤

○このリーフレットに関するお問い合わせ先

木島平村教育委員会 子育て支援係

〒 389-2392 長野県下高井郡木島平村住郷 91 4-6

Tel 0269-82-3111 内線 161 Fax 0269-82-4121

E-mail kosodate@vill.kijimadaira.lg.jp

